

KAGONMAGAJIN

2017
Vol.1.2

かごんまが人



かごんまが人について

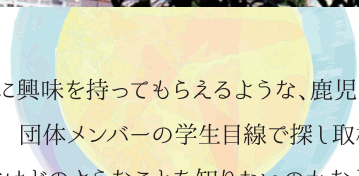
かごんまが人プロジェクトって？

データで見る！ かごんまのよかところ **魅力紹介**

スペシャリスト インタビュー

社会人お気に入りの場所

じん
『かごんまが人』について



学生に興味を持ってもらえるような、鹿児島県の経営者や企業人を
団体メンバーの学生目線で探し取材を行いました。

学生はどのようなことを知りたいのかなどを考え、記事の作成、
推敲などを分担して行い、県内企業の協力もいただき、
作成と印刷そして製本まで行っています。

鹿児島の魅力の1つである「人」を通じて、考えや思い、人生観などを通して
鹿児島の企業について知ったり、鹿児島の良さを知ったりしてほしいと思っています。

様々な切り口から鹿児島で就業することや
生活することについての魅力を感じてもらいたいと思います。

鹿児島の「良さ」をより深く伝えていきたいという願いが
本冊子には込められています。



2017
Vol.2

かごんまが人 CONTENTS



02 かごんまが人について

04 かごんまが人プロジェクトって？

05 会社情報

魅力紹介

06 データで見る！ かごんまのよかとこ

CHECK!

08 スペシャリスト インタビュー

- 株式会社 ecommit 吉居 大希さん
- NPO法人桜島ミュージアム 久木田 智美さん
- 株式会社鹿児島銀行 山内 倫裕さん
- 株式会社 南日本放送 緒方 桃子さん
- (公社)鹿児島県助産師会 鹿児島中央助産院 北村 愛さん
- 株式会社現場サポート 林元 文香さん



20 社会人お気に入りの場所



- 味処 華もみじ
- 野菜カフェ セツ森 cafe
- 湯之平展望所
- 与次郎のテトラポット
- 海と道の駅
- 屋久島 永田浜

22 インターン情報

23 編集後記





『かごんまよかとこプロジェクト』って？



県内の大学生は、約半数が県外へ就職しています。その1番の要因は、地元企業が鹿児島で働く魅力を効果的に発信できていなかったり、学生が地元企業や鹿児島の魅力を発見できていなかったりすることだと私たちは考えました。

この課題を解決するため、私たち県内の大学生が地元企業と協働し、鹿児島で働く魅力を発信することで、県内就職率向上につなげることを目指しています。

また、“働くこと”や“就活”に対する不安を解消して、少しでも“働くこと”や“就活”にワクワクや希望を持ってもらえるように、鹿児島のキャリアデザインについて考える機会を提案しています。その主な活動が2つあり、1つ目は「かごんまのHOTな先輩とkataruba」です。

県内で熱い想いを持つ社会人と対話しながら、就活にactionを起こしたくなるきっかけづくり。2つ目は「かごんまが人」で、上記で述べたような社会人にスポットを当て、人を通じて鹿児島の企業や魅力を知ってもらう冊子。

これらを通して、鹿児島で働く魅力を再発見してもらい社会人と学生をつなぐことで新たな交流が生まれるだけでなく学生の意識変革などの成長につなげ、学生の次へ踏み出すきっかけとなることを願いながら現在10名で活動しています。



かごんまが人

今回お世話になった

会社情報

株式会社 南日本放送



鹿児島で唯一の民放テレビ&ラジオ兼営局です。「ふるさとたっぷりMBC」を合言葉にスポーツや音楽、芸術、祭りなど番組やイベントを通して、鹿児島の様々な姿を毎日伝えています。地域密着型の放送局でこれからも変わらない人や心を伝え続けます。

株式会社 ecommit



環境ビジネスに革新を、お客様に感動を、そしてみんなが夢を叶える場所であり続ける。不要なモノを、それを必要としている人々に届け、新たな価値を生み出す企業。リユース・リサイクル事業をグローバルに研究し、将来的にはモノの国際的な循環を目指して事業を展開中。

(公社)鹿児島県助産師会 鹿児島中央助産院



鹿児島県助産師会立の助産院として1961年に開設した。2016年5月に高麗町から伊敷へ移転。鹿児島県内で3施設しかない、生活保護の方も正常な助産を受けられる第2種助産施設である。赤ちゃんとお母さんの力を信じ、自然なお産を大切にしている。

NPO法人桜島ミュージアム



桜島・錦江湾「ジオの恵み」シリーズの商品開発・企画営業、「桜島のつばき油」の商品開発・企画営業、桜島ビジターセンター商品の管理、桜島のガイド・体験活動の受け入れなどを行っている。桜島ビジターセンターでは桜島の歴史や自然についてわかりやすく展示、解説している。

株式会社現場サポート



建設業をサポートするIT企業。情報の処理・活用を支援するプロフェッショナルとして、常に価値創造、社会貢献、物心ともに豊かになることを目標としている。九州第一号のユースエール認定企業。

株式会社鹿児島銀行



鹿児島銀行は地域とお客様に密着した銀行です。地域貢献にも積極的に取り組み、お客様にとって一番頼れる、身近な金融機関を目指しています。また、「九州トップの総合金融グループ」を目指し、「広域化した新たな地域密着型のビジネスモデルの創造」に取り組んでいます。

が深い…などの他にもたくさんあるんです!

魅力紹介

かごんまのよかところ

他にも
たくさんあります!

check

✓ ゆったり暮らせる!



	鹿児島県	指数値	ワースト1	指数値
人口密度(可住地面積1km ² 当たり)	41	510.1人	東京都	9602.9人
多目的運動広場指数(人口100万人当たり)	4	146施設	東京都	9.5施設

check

✓ 物価が安い!

ここからは人口密度などのデータからみた
鹿児島です☆
のんびり暮らしたい人、注目!(笑)

Nice!

	鹿児島県	指数値	ワースト1	指数値
消費者物価地域差指数(家具・家事用品)	40	97.2	福井県	107.2
消費者物価地域差指数(被服及び履物)	43	94.9	栃木県	112.7

point

他のデータからも、
地域が安全、医療環境の充実、
社会との強い絆がある
などの良さを見出すことが
できます☆



いいね!



出典 総務省

close up



食べ物が美味しい、自然がいっぱい、歴史

データで見る!

check



鹿児島はポテンシャルが高い!

point

株式会社野村総合研究所(NRI)が出した、国内100都市を対象にした成長可能性ランキングで、なんと鹿児島市が第2位にランクイン!これは、鹿児島市はこれから地域経済を牽引していく可能性を秘めている、ということです。なんだかワクワクしてきますね。

No.1!



こちらはライフスタイル別に見たランキング。鹿児島市が2つも1位をとっています。嬉しいです!個人的に!!(笑)



	第1位	第2位	第3位
移住者にやさしく適度に自然がある環境で働く	鹿児島市	松本市	宮崎市
リタイア世代が余生を楽しみながら仕事ができる	鹿児島市	福岡市	松山市
子育てしながら働ける環境がある	松本市	前橋市	佐賀市
企業スピリッツがあり、スモールビジネスに適している	東京都特別区部	つくば市	福岡市

ちなみに他に
評価されたのは…

- 地域の共助精神・コミュニティの成熟
- 住民にとってのQOLが高い
- 外部人材の受け入れ
- 多様性への寛容度など

出典(NRI) <https://www.nri.com/jp/event/mediaforum/2017/pdf/forum255.pdf>

常に考えること、
そうすれば何かが見えてくる



ecommit 取締役管理部長

よしい ひろき
吉居 大希 さん

【吉居さんの略歴】長崎県出身。九州大学工学部卒業後、公認会計士2次試験に合格。福岡、東京の監査法人で3年ずつ勤務。
Yotsuba accounting (Thailand) で現地責任者を務め、退所後、2016年に株式会社ecommitに参画。

Question

吉居さんにとって
仕事とは？



九州大学工学部卒業後、公認会計士の資格を取得。海外での仕事も経験した後、今のエコミットへ入社した、少し変わった経歴の吉居さん。丁寧で落ち着いた印象からは、なかなか想像できない様々な経験をしている吉居さんは、どのようなことを大事にしながら今まで生きてきたのだろうか。

私は何を軸にして就活をしていけばいいか、すごく悩んでいる。同じ悩みを持つ学生は少なからずいると思う(そうだよね！笑)。

では、吉居さんはどうだったのだろう。話を聞いていくと、やはり吉居さんでも何をしたいのか分からない、このまま敷かれたレールに乗っていいのか…と悩んだ時期があったらしい。

そんなとき、吉居さんがしたことは、『常に考える』こと。そして『人の意見を聞いていろんな視点を取り入れ、それでもブレないもの

を大事にしていく』こと。

「考える」ということは個人レベルだけでなく、企業で働く際、もちろん大事なことで、例えば何か問題があったときに、ただ議論するだけではなく、企業のビジョンや理念に戻って考えるということをしているそう。

そんな吉居さんは最近、考えたうえで面白いと思えることや、興味があることを家族とのバランスをとりながら働いている。ちなみに今吉居さんが面白いと感じていることは、『自分の専門性が見える』こと、そして、『したことが「見え

る」化する』ように工夫すること。自分が面白いと思えることを会社の中で出来ていて、しかもそれが会社のためになっている。吉居さんの話を聞いているとそんな印象を受けた。

常に考えること、そして自分の面白いと思えることを大事にしていく。これが吉居さんの働き方だ。



私は消費者になるよりも、
生産者になりたい。

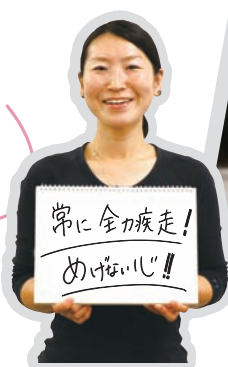


NPO法人桜島ミュージアム くきた 久木田 ともみ 智美さん

【久木田さんの略歴】垂水市出身。鹿児島大学卒業後、横浜で教員をしていたが結婚を機に鹿児島で働き始める。

Question

久木田さんにとって
仕事とは？



桜：今のお仕事と出会ったきっかけは何だったんですか？

久：もともと肌が弱くて、桜島の椿油を使っていたんです。そしたらちょうど桜島ミュージアムの求人を見つけて、もの作りが好きな私は商品開発のお仕事ができるということで入りました。

桜：今の仕事が自分に向いているか不安になることはありませんか？

久：不安は今でもあります。上には上がいますから、トップのすごい人たちにどれだけへこたれないで、きらめないでいけるか、自分の弱さをどれだけ認められるかだと思います。自分に何が向いているんだろうと思いつつも、私はとりあえずやってみる派なんです。どんなことも自分がワクワクするか、楽しそうと思えるかを基準にして私は動いています。

桜：鹿児島で働くメリットはあり

ますか？

久：鹿児島を好きになり、自分自身の軸となる根底となるものを思う存分見つけ出す時間もできました。鹿児島は頑張れば頑張った分だけ結果がついてきやすい場所だと思います。いい意味でちょうどいいサイズ。「鹿児島県」っていう大きなものに届きやすいのは鹿児島のメリットだと思いますね。

桜：久木田さんの思う鹿児島の魅力、桜島の魅力は？

久：食べ物もおいしい、自然がたくさんある、交通も便利、子育てにも向いている、人が生活するのに必要なことは何でもあるんだなあと感

じます。人の温かさをダイレクトに感じる、季節を感じる、ここに生まれてよかったなあと思えますよね。

新しいものと古いものが両方揃っているのも飽きなくて楽しいです。

桜：これから鹿児島とどう関わっていきたいですか？

久：鹿児島に足りないことを見つけて仕事を作っていくように、ただ消費者になるだけじゃなくて生産者の立場になりたいですね。



私が鹿児島で働くこと、
そして将来を考える。



株式会社 鹿児島銀行 やまうち 山内 ともひろ 倫裕 さん

【山内さんの略歴】鹿児島市出身、早稲田大学グロービス経営大学大学院経営修士課程修了後、鹿児島銀行に入社

Question

山内さんにとって
仕事とは？

Give
&
Take.!!



佐々木：普段こういった気持ちで
仕事をしていますか？

山内：地方銀行っていうのは地方
の経済を支えるうえで凄く大きな
役割を担っているわけで、鹿児島
の経済の何かしらのお役に立てるこ
とをしたいなと思って仕事をして
います。特に今医療の担当の部署
にいますので、医療介護のお客様向
けに専門的なソリューションをかけ
ながら営業をしているところです。

佐々木：この仕事をやってよかつ
たと思う瞬間はどんな時ですか？

山内：絶えず感じているのですが、
やっぱりお客様に信頼されてて
何か困ったことがあったときに一
番最初に連絡をもらえるかどう
か、例えば税理士さんとか弁護士
さんとか、いろいろお客様の取引で
相談していらつしやる所とかある
じゃないですか。まず一番に相談し
てくれる、若しくは「今ちょっとこ
ういうことを考えているんだけど、

どう思う？」とか、そうやってきた
ときにやっぱりうれしいですかね。

佐々木：鹿児島が今後どんな風にな
ってほしいか、思いはありますか？

山内：鹿児島の学生さんは半分く
らい県外に就職するじゃないです
か。鹿児島は温泉があったり、食
物は美味しいし、火山灰はあるけ
ど気候もいいし、こんないい場所な
いと思うんですよ。多分みんな働
き先がないから出ていくんだと思
うんですよ、職風が良くないとか、
給料があまりもらえないから、じゃ
あ東京の方、福岡の方がもらえる
だろうと。

鹿児島でそんだけ給料が払えて待
遇の良い会社を作っていく。僕の個
人的な目標はそういうことだと
思っています。

佐々木：山内さんにとって仕事と
はどういったものですか？

山内：自己研鑽のきっかけと、自己
実現の場所を与えてくれるもので
す。



大好きな鹿児島で、
信頼されるアナウンサーを目指します！



株式会社 南日本放送 おがた 緒方 ももこ 桃子 さん

【緒方さんの略歴】 甲南高校卒業、早稲田大学社会科学部卒業後、MBCアナウンサー

Question

緒方さんにとって
仕事とは？



今回、私の憧れである緒方さんにお話を聞くことが出来た。

どうしてアナウンサーになろうと思ったのですか？

私は声を使う仕事がしたくて。高校では、放送部に入っていました。その時、朗読で全国1位になり、甲子園で司会をするという経験もありました。周りからも「アナウンサーになるんでは？」などと言われ始めてましたね。実は大学ではあえて放送から離れて、学園祭の実行委員をしていました。ここでは裏方をやっていましたが、放送部の経験もあり「司会して言われることが多くて。その時司会を受けましたが、やっぱり声を使っている時が一番楽しいと感じました。

なぜ大学時代に過ごした東京を離れ、鹿児島で就職したのですか？

普通、アナウンサーは、全国各地を受験します。縁もゆかりもないところのアナウンサーになる方もいらっしゃる。

しゃいます。私は、折角なら地元でアナウンサーになりたいと思いました。

親や知ってる人もいますし。鹿児島が大好きですが、鹿児島に住んでいても鹿児島の知らないことが沢山あります。改めて学ぶという意味でも「鹿児島に帰りたい」と思ったからです。

そもそもアナウンサーのお仕事って？

ラジオのニュース番組やテレビニュースを読んだり、取材に行ったり中継を結んだり。ナレーション、CMなども録ります。この前、ピンチヒッターで一週間出演した番組でコーナーをひとつ任されたことがありました。企画を考えていた時、自身がアレルギーで小麦が食べられないことをヒントに、グルテンフリーの商品を



集めて紹介させていただきました。商品を集めるところから自分でした。グルテンフリーの商品を身近に買えるお店が意外と沢山あることを知りました。こういった情報を地元の方にお伝えすることが出来るのはアナウンサーならではの楽しみです。

大学時代は地元である鹿児島を離れ、経験を積み、鹿児島を客観的に見つめることが出来た緒方さん。彼女から発信される、鹿児島の魅力に注目だ。



私たちの営みがある、
鹿児島の器。

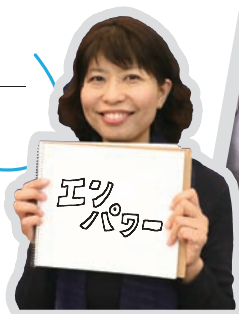


鹿児島中央助産院院長 きたむら 北村 あい 愛さん

【北村さんの略歴】鹿児島県出身。県外やラオスで働いたのち、鹿児島中央助産院に入職。現在に至る。

Question

北村さんにとって
仕事とは？



なぜ鹿児島で働いているのですか

東北の震災のあと、私も何かしないといけないと思っていたときに、繋がりがあって鹿児島中央助産院で働くことになりました。運命のような…鹿児島にいないといけないんだな、鹿児島で頑張らなといけないことがあるんだなと感じました。

県外やラオスで働いた経験もある中、なぜ鹿児島を選んだのですか

人との繋がりがあること。こんなに素敵な人や一生懸命に鹿児島の未来のことを考えている人が身近にいること。そういう人の中で私もやっていきたいし、私がいる場所は鹿児島だっと思うんです。

愛さんにとっての鹿児島の魅力に、人も含まれるのでしょうか

やっぱり人は大きいです。温か

かったり、ゆるかったり。

ゆるさ？

人を受けとめる器がある。こうじゃなきゃ！ではなく、駄目でもいいよって言える度量がある。県外だと、そのゆるさが良くも悪くも目立ってしまうんです。でも私は、鹿児島のただルーズなだけではないゆるさが居心地良くて。相手も自分も許せるところがいいですね。

ゆるさやスペースが鹿児島に様々な人が集まる理由で、同じように鹿児島の助産院のゆるさが、色々な状況や思いを持ったお母さんたちが集まる理由なんですね。

最後に、愛さんにとって仕事とは

やりがいを感じています。私たちも苦しいし、折れそうになることもあります。でもお母さんたちと協力しながら、赤ちゃんが産まれるまでのプロセスを過ごす中で私たちも強くなれるし、産後のお母さんと赤ちゃんの顔を見ることができて幸せです。

社会を作っている実感もあります。大きなことをしている訳ではないけど、お母さんが赤ちゃんを産む手伝いをするのは、日々社会を作ることなんだと思います。



原点に立ち返り知った、 内定はゴールじゃない



株式会社現場サポート はやしもと 林元 あゆか 文香 さん

【林元さんの略歴】鹿児島出身。鹿児島大学法学部法政策学科卒業後、株式会社現場サポートに入社して5年。カスタマーサポートを経て企画部ディレクターに。旅行が好きで、いつかロサンゼルスに住みたいそう！

Question

林元さんにとって
仕事とは？



鹿児島に働くきっかけ

卒論の中でコミュニケーションが大事だと感じた林元さんは人と人とのモチベーションを上げるためにはどうしたらいいかを知りたくて民間志望に。内定先で働く自分を想像したとき違和感を持ち、「最初の思いとかを忘れてしまつて内定を取ることに必死になっていることに気づきました。」とおっしゃる林元さん。もう一度原点に立ち返り鹿児島から盛り上げる会社を探して再スタートしたところ、熱い社長に出会ったという。地域貢献について『会社がまずよくなるのが地域の見本になる第一歩になりますね』という社長の言葉に感動しこの社長と一緒に頑張っていきたいと思ったのが縁だったそう。

鹿児島で働いてよかったこと

「鹿児島を盛り上げようという会社で地域の第一歩になるような活動をしていけるのはよかった」と林

元さん。もちろん鹿児島のご飯のおいしさや人の良さも好きらしい。

やりがいを感じる時

「自分の企画に対してリアクションがある」とモチベーションにつながる」と嬉しそうに話してくれた。社内でも『ありがとう』や『これいいね』と言いつつ風土で、頑張るモチベーションにつながっているそう。

学生に伝えたいこと

「まずは背伸びしないこと。自分自身のいいところ悪いところを含めて理解してもらってそれでも一緒にいたいという企業さんに絶対出会えるので焦らずに。内定がゴ-

ルではなく、五年後の自分を考えながらやってもらいたいな」と話す林元さんはとてもやさしい目をしていた。

学生時代はバンドやボランティアに充実していた林元さん。就活時代は苦しかったものの、超ポジティブ思考で失敗もチャンスととらえるそう。決断力と追及心がある林元さんはとてもキラキラしていた。



WOW!

社会人 お気に入りの場所

この社会の中で今日も元気にご自身のお仕事に
励んでいらっしゃる社会人の皆さん
毎日をたくましく生活するPOINTは適度なリフレッシュ!!
そこで、社会人の皆さんの行きつけを聞いてみました

野菜カフェ セツ森 cafe

緒方さん
オススメ



Yummy!

ごはんも美味しいし落ち着く空間なので、よく行きます。おすすめメニュー【クラムチャウダー 1200円(税込) デザート&コーヒー付】あさり、きのこ、野菜のミルク煮。豆乳クリーム仕立て、ダシも無添加でやさしい味。隠れ家的な大人のカフェ。

住 所 鹿児島県鹿児島市東千石町16-16-2F
まきの本店向かい
電 話 099-225-1885
営業時間 11:30~20:30 LO 火曜定休

吉居さん
オススメ

味処 華もみじ



Beautiful

薩摩川内市の夜景を一望できるお店。
月10日の限定営業で、予約優先。
景色がとても綺麗で、もちろんお料理も
美味しい、吉居さんのおすすめのお店。

住 所 北海道札幌市南区定山溪温泉西3丁目32番
営業時間 夕方~相談可(夜のみの営業)
※完全予約制となります。
定 休 日 不定期 月10日間の限定営業(予約優先)

📷✨ 社会人お気に入りの場所

nice



与次郎のテトラポット

山内さん
オススメ



オススメ

Let's go!

山内さん紹介のテトラポット群。
「錦江湾越しの桜島を眺めながらぼーっとするのが好き」と語っていました。お仕事や日常の中でリフレッシュするための大事な場所のようです。



湯之平展望台

久木田さん
オススメ



Amazing!

オススメ

桜島で人が登れる最高地点。
荒々しい山肌が夕日に赤く染められる景色が最高です。
火山好きもそうじゃない人も心をリセットするのにおすすめ。



屋久島 永田浜

林元さん
オススメ



オススメ

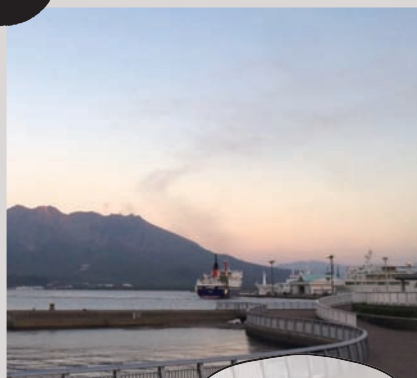
OMG!

屋久島にある浜辺ここでは5～8月にかけてウミガメが産卵のために浜に上がってくるそうです。ウミガメの産卵は感動です！もちろん青い海も最高！



海と道の駅

北村さん
オススメ



Refresh!

オススメ

特に好きなのは、坊津の海。海はのんびりゆっくりリセット出来る場所。道の駅も好きで、オススメは桜島の海に行き、帰りに道の駅に寄るコース。坊津はちょっと遠いので、ふと海に行きたくなったら桜島のコースで気分転換。

ふみだせあなたにベストな仕事を見つける第一歩!!

INTERN INFORMATION

ご協力企業様 インターン情報



株式会社 ecommit

インターンシップ

期間：時期、期間は希望に応ずる。
報酬：原則なし。成果に応じたインセンティブあり。
交通費：実費支給
社宅：社宅への宿泊可
内容：時期、期間、希望する職種に応じて設定

取り組む課題(例)

2017年▶大学生の採用状況について100人分のアンケートを取り、今時の大学生の入社の手となる情報を分析せよ。

2016年▶フリマを活用したB to C販路開拓・ブランディング・スタッフ新規採用に向けた戦略策定プログラム



株式会社 現場サポート

「何から始めればいいのか
わからない…」

Look! 3時間でばっちり
就活対策!

インターンシップ

日程：リクナビにて案内中
時間：15:00~18:00 または
14:00~18:00
場所：〈現場サポート〉本社4階GS Café
〈現場サポート〉福岡Office
参加費：無料
内容：業界研究・社長勉強会・
カフェタイム



株式会社 鹿児島銀行

かぎんインターンシップ2019

【開催日程】(予定)
《1回目》平成30年2月8日(木)、9日(金)
《2回目》平成30年2月22日(木)、23日(金)
※2Daysインターンシップ。1日のみの参加可。
1回目・2回目の内容は同一。

【場所】
かぎん会館 with (鹿児島市与次郎2-7-28)

【カリキュラム】(抜粋)
銀行業務理解、鹿児島銀行独自の取り組み、
長期行外派遣者講演・座談会、
共同ワーク(法人営業疑似体験)、
先輩行員パネルディスカッション・座談会

【申込方法】
マイナビ2019、リクナビ2019より
参加予約受付中



高橋 愛梨

(たかはし あいり)

大好きで尊敬してやまない北村愛さんを紹介出来ることが、大きな喜びです。
カゴマガジンを作るために協力して下さいた皆さま、そしてKAGOらばメンバーのみんなに感謝します。
この冊子が手に取って下さったあなたの“きっかけ”になりますように。



佐々木 翔

(ささき しょう)

実際に取材をしてみても、自分の準備不足が目立つ取材だったなと感じました。
山内倫裕さんの取材を担当しましたが、凄く優しい方でこちらが取材をさせて頂いて側なのに大分気を使って頂き、本当に助けられました。
今のうちに貴重な経験ができてよかったです。



寺田 桜心

(てらだ ろうみ)

鹿児島が嫌いで横浜に出たという久木田さんでしたが、今回のお話には鹿児島への愛がたくさん感じられました。
これからもチャレンジし続けて鹿児島や桜島ミュージアムに恩返しをしたいと話す久木田さんに負けないくらい私もずっと成長し続ける社会人になりたいです！



代表
森下 彩絵

(もりした さえ)

かごんまが人を今年も発行することができて、本当に嬉しいです。
取材させて頂いたあなた方、印刷担当の株式会社プロゴウ様、デザイン担当の福元様、イベント準備に追われながら頑張ったメンバー、関わってくださった全ての方々に感謝致します。

編集後記



Thank you!



最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

かごんまが人で紹介した方々以外にも、かごんまで働く素敵な社会人はたくさんいます！

この本を1つのきっかけとして、もっとたくさんの方々に出会い、知ること、

少しでも鹿児島で働くことの楽しさや素晴らしさを知っていただけたら幸いです。



木本 貴久

(きもと たかひさ)

最後まで読んでいただきありがとうございます。
私たちの想いが少しでも心に響けばうれしく思います。
読者と本冊子を作成するうえで支えてくださった多くの関係者様すべての人に感謝の想いを込めて「ありがとうございました。」



濱岡 百合絵

(はまおか ゆりえ)

みなさんのお力添えのおかげで素敵な冊子になりました。
「かごんまが人2」ということでページを任せていただきました。
取材に行くのも原稿を書くのも本当に楽しかったし、しかも私の文章を読んでもらうことが嬉しいです。
ありがとうございました。



寺田 麗々蘭

(てらだ りりか)

インタビューを通して、社会人の方の想いや働き方を知ることができました。
この想いをより多くの学生に知ってほしい、伝わってほしい！と思います。
この一冊から新しいつながりが生まれたらうれしいです。



若松 香澄

(わかまつ かずみ)

前回から発行している『かごんまが人』。
鹿児島で楽しく働いている社会人を多くの学生に伝えたい想いが、今年もこうして形に出来たことを本当に嬉しく思います。
この冊子をきっかけにつながるきっかけが出来ますように。

＼ かもんまで働くひとに会いに行こう！ ／